

SPring-8運転・利用状況

財団法人高輝度光科学研究センター
研究調整部

平成20年3～5月の運転・利用実績

SPring-8は平成20年3月1日から4月1日までマシンの年度末運転停止期間とし、加速器やビームラインに係わる機器の改造・点検作業、電気・冷却設備等の機器の点検作業等を行った。4月2日から4月24日までセベラルバンチ運転で第1サイクルの運転を実施した。第1サイクルでは電磁石電源でのトラブルによる停止等があったが、全体としては順調な運転であった。総放射光利用運転時間（ユーザータイム）内での故障等による停止時間（down time）は約0.6%であった。

放射光利用実績については、実施された共同利用研究の実験数は合計188件、利用研究者は860名で、専用施設利用研究の実験数は合計64件、利用研究者は269名であった。

1. 装置運転関係

(1) 運転期間

第1サイクル（4/2（水）～4/24（木））

(2) 運転時間の内訳

運転時間総計	約526時間
装置の調整及びマシンスタディ等	約71時間
放射光利用運転時間	約452時間
故障等によるdown time	約3時間
総放射光利用運転時間（ユーザータイム＝＋）	
に対するdown timeの割合	約0.6%

(3) 運転スペック等

第1サイクル（セベラルバンチ運転）

- ・ 1/7 filling + 5 bunches
- ・ 4 bunch train × 84
- ・ 11 bunch train × 29
- ・ 入射は20～40秒毎にTop-Upモードで実施
- ・ 蓄積電流 8GeV、～100mA

(4) 主なdown timeの原因

電磁石電源の冷却水流量低下によるアポート
ユーザーのケーブルダクト誤操作によるアポート

(5) トピックス

4月10日19時半頃に蓄積リングの六極電磁石電源で冷却水の断水によるビームアポートが発生した。直ちに現場で確認を行い、冷却水流量の再設定及び安全確認終了後より運転を再開している

2. 利用関係

(1) 放射光利用実験期間

第1サイクル（4/2（水）～4/24（木））

(2) ビームライン利用状況

稼働ビームライン

共用ビームライン	26本
専用ビームライン	14本
理研ビームライン	7本
加速器診断ビームライン	2本

共同利用研究実験数 188件

共同利用研究者数 860名

専用施設利用研究実験数 64件

専用施設利用研究者数 269名

(3) トピックス

4月18日0時頃時にBL29XUのユーザーによる実験ハッチケーブルダクトの誤操作でビームアポートが発生した。直ちに現場で安全性を確認し運転を再開している。

今後の予定

(1) 4月25日から5月8日までマシンの中間点検期間とし、加速器やビームラインに係わる機器の改造・点検作業、電気・冷却設備等の機器の点検作業等を行っている。

(2) 5月9日から6月23日までマルチバンチ及びセベラルバンチ運転で第2サイクルの運転を実施する予定である。詳細な運転条件については決定しだい、ユーザーにSPring-8のWWW等で報告する。